



図書たより

NO. 22

Apr 2017

明治大学中野図書館

図書館員オススメの本

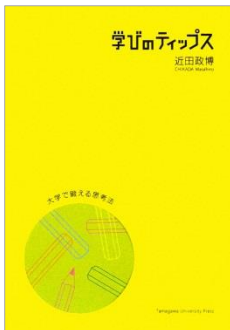
【竹村牧男著『心とはなにか：仏教の探究に学ぶ』春秋社，2016】



この本は仏教による心の有様の捉え方などを教えてくれる。仏教は人間には苦しみがつきものというところからスタートする。四苦八苦だ。苦を見据えてどう解決するかは、4つの真理「四諦(したい)」による。苦の原因を修行を通してなくしていく「八正道」。苦の要因が「十二縁起」、大元は「無明(根源的な無知)」である。煩悩の根源も無明と同じ「癡(ち)」である。仏教は世界と心を分析する。五蘊(ごうん)・十二処・一八界。さらに詳しくは、五住七十五法や五住百法。仏教の目指すところは、よく知られているように悟りの心である。凡人には悟りは得られないと思う。しかし、善なる心、本当の智慧をめざしていくことは大事である。

専門用語が多く、一回読んだだけで、またこの本だけで仏教がわかるとは思えないが、良く生きるために、また日本人を理解するために勉強する価値があると思う。人は過ちを犯すことがある、心にも修行が必要だ。特に慢心する大人には。

【近田政博著『学びのティップス：大学で鍛える思考法』玉川大学出版部，2009】



「ティップス」(Tips)とは、ちょっとしたコツやノウハウといった意味。

学びの習慣をつけるための32ティップスがまとめられているのが本書である。

大学生になれば、自分の頭で考え学びの習慣をつけることができなければならない。

本書は、102ページと1〜2時間で読みきれることができる分量で、実際に「大学で学ぶために」求められる具体的なコツを、筆者の主観的な見解や体験談も交え書かれている。

また、見開きでまとめられているのでエッセイのように読みやすいところが非常にコンパクトでオススメである。

大学新入生に丁寧に説明している内容ではあるが、二年生以上の学生も目に留まるポイントがあると思われる。自ら主体的に学習する習慣を身につけることは学生時代だけではなく、社会人になった後も職場など様々な場において重要な姿勢である。

大学生の皆さんには、是非この本を読んでもらいたい。

【ロジーナ・ハリソン著『わたしはこうして執事になった』白水社，2016】



執事——小説や映画、コミックにしばしば登場する彼ら。しかし本当の所、どんな仕事をし、どのように生活しているのかがよく分からない、謎の存在でもある。

本書は、執事となった(なる前に転職した者も)男性5人にインタビューした本である。

田舎の少年が様々なお屋敷で下級使用人を経て、大邸宅を動かす叩き上げの執事となっていく。貴族や資産家に仕える執事は華やかな上流世界や国際機密に触れることもあるが、仕事はハードで誰にでも出来るようなものではない。しかし、苦勞とともに仰天エピソードや笑い話を語る彼らは、みな自分が「紳士付きの紳士」であったことに誇りを持っている。5人の職業人生を通して、変わり行くイギリス社会も知ることが出来る1冊。

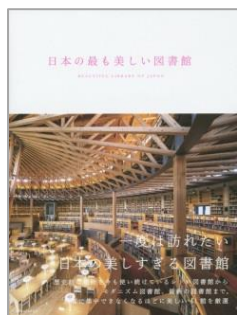
【大森洋平著『考証要集：秘伝!NHK 時代考証資料』文藝春秋，2013(文春文庫：お-64-1)】



著者である大森氏によれば、「ドラマの時代考証とは、番組で取り上げられる史実・時代背景・美術・小道具等をチェックして、なるべく史的に正しい形にしていく作業」とのことである。出版社の校閲部を舞台にして話題となったドラマや原作小説があったが、こちらはそのテレビ局版といったところだろうか。NHKの時代考証を担当してきた大森氏が長年かけて作成した膨大な「考証メモ」のなかから、頻出項目等を抜粋して作られた制作現場向けの資料を底本に書籍化されたのが本書である。

五十音順で整理された各項目には、見出しと解説文があり、根拠とした出典についても明記されている。まるで辞書のようなのだが、解説文には著者の意見や経験談なども書かれ、読み物としても面白い。また、出典として古い映画や歴史小説での用例なども挙げられており、著者が様々なものを情報源としていたことがうかがえる。2013年に出版されたもののため、新たな発見や学説等で出版当時と変わったところもあるかも知れない。興味をもった事柄があれば自ら調べてみるのも面白いだろう。

【立野井一恵文『日本の最も美しい図書館』エクスナレッジ，2015】



図書館の歴史はとても深い。

日本最古の図書館は奈良時代に誕生したと言われている。

そんな古い歴史を持つ図書館が、当時は恐らく想像も出来なかったほど新しく、また美しく保存されている。

歴史的な建物を今も使い続けているレトロ図書館からモダンな図書館、最新の図書館まで全41館を掲載した『日本の最も美しい図書館』。

東京都内にある図書館では、“武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館武蔵野プレイス”、“国立国会図書館国際子ども図書館”、“千代田区立日比谷図書館”などが掲載。

他にも全国各地選りすぐりの美しい図書館が写真と解説付きで紹介されている。

図書館好きな方やそうでない方にもおすすめの読みやすい1冊。

これを機に、この本を手にとって『日本の最も美しい図書館』に是非足を運んでみてはいかがだろうか。

図書館からのお知らせ

4月26日(水)から、図書館ゼミガイダンスを行います。
ゼミガイダンス中は、説明などで
騒がしくなることがあります。
申し訳ありませんが、ご了承ください。

